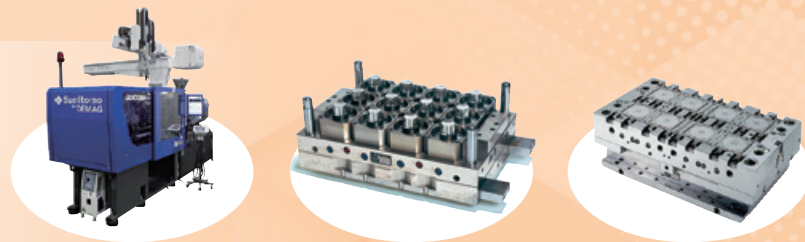


第56期

株主通信

2020年12月期

(2020年1月1日～2020年12月31日)



PRODUCT MOTHER

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年12月期の株主通信をお届けいたします。



社訓(私たちの価値観)

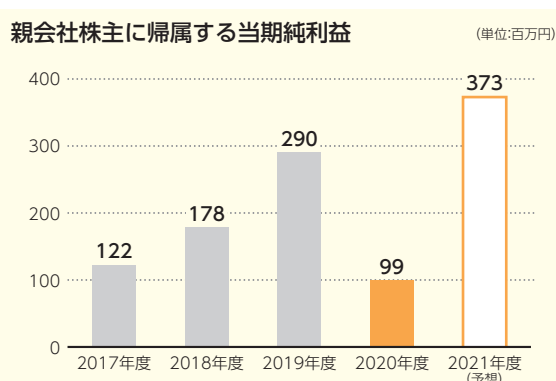
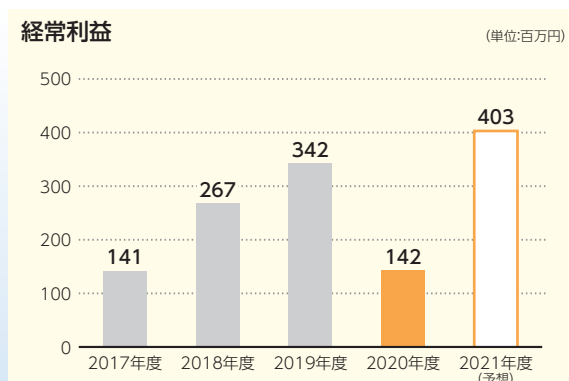
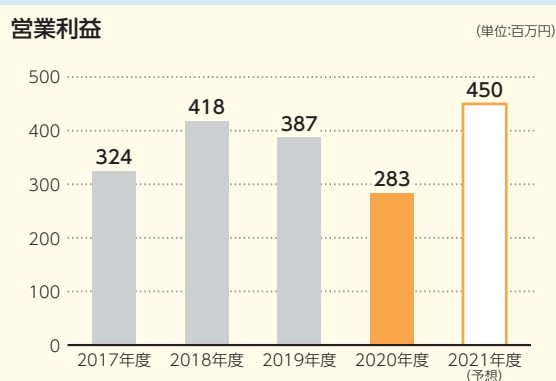
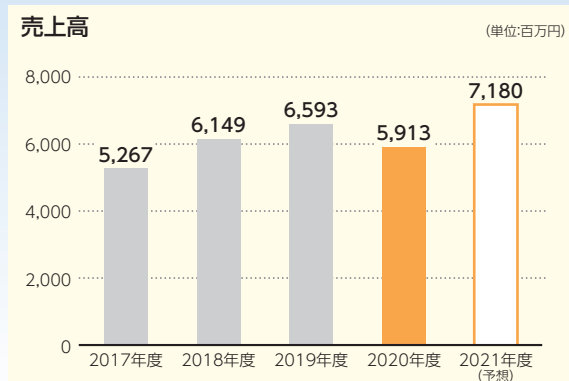
「技術は命」「良品は力」「誠意は道」

 不二精機株式会社



証券コード: 6400

連結財務ハイライト



(注) 各指標の金額は、百万円未満を四捨五入しております。

2020年度の売上高は、新型コロナウイルスの影響を国内外で受け、精密金型事業では医療用関連分野を中心に堅調な受注が続いているものの検収手続きの遅れが発生したこと、前期比5億95百万円減(20.4%減)の23億27百万円となりました。精密成形品事業では主力の自動車用部品で顧客の稼働が停止した時期があり、前期比85百万円減(2.3%減)の35億86百万円となりました。売上高合計としては、前期比6億80百万円減(10.3%減)の59億13百万円となりました。

営業利益は、精密成形品事業の稼働率の低下などにより、前期比1億4百万円減(26.9%減)の2億83百万円となりました。

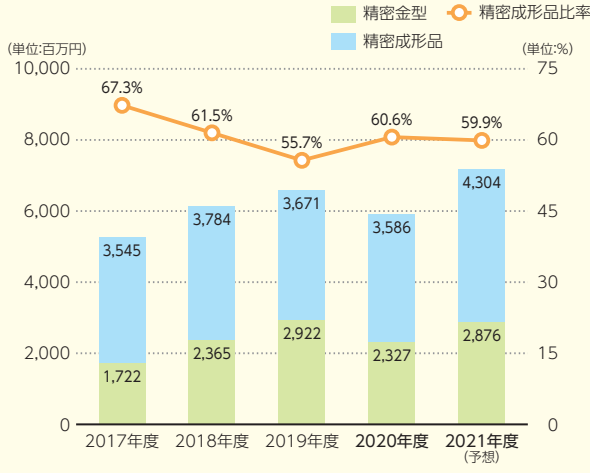
経常利益は、営業利益の減少に加え、インドネシア子会社での本社からの円建て借入金の評価替えなどによる為替差損90百万円の発生があり、前期比2億円減(58.5%減)の1億42百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益が減少したことにより、前期比1億91百万円減(65.8%減)の99百万円となりました。

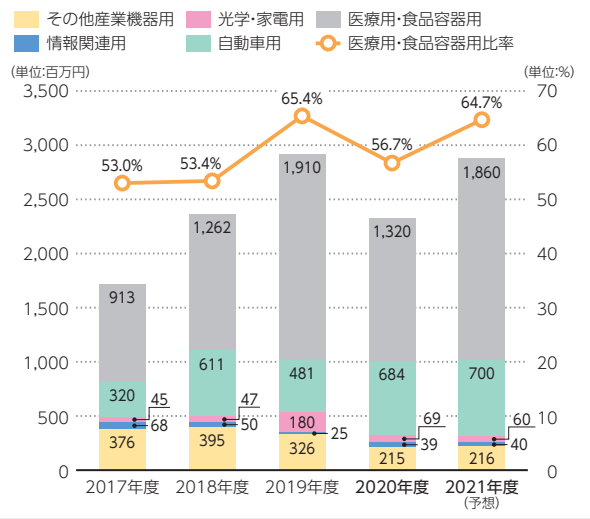
2021年度は、新型コロナウイルスの影響が不透明な部分もありますが、足元の自動車用部品の急回復もあり、2019年度に準備を進めた自動車用部品の増産のための設備の稼働率の向上などにより増収・増益を目指して参ります。

概況

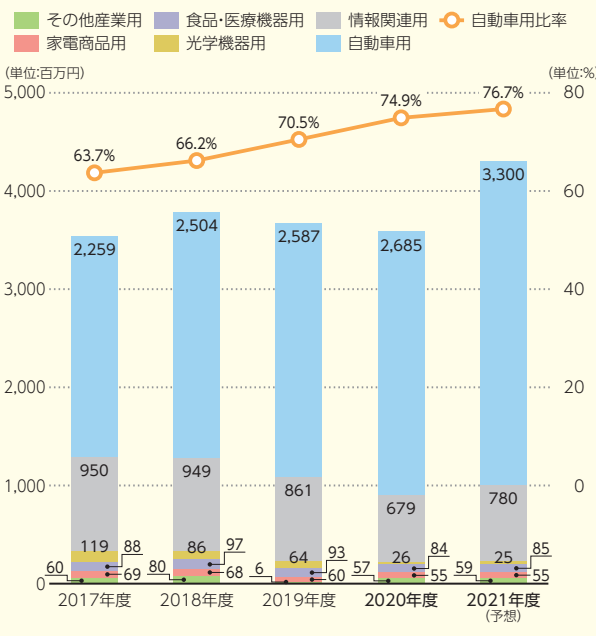
事業セグメント別売上高推移



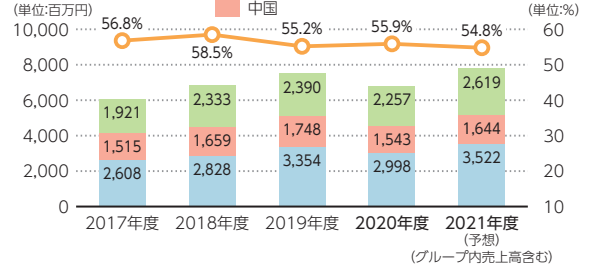
精密金型事業分野別売上高推移



精密成形品事業分野別売上高推移



地域別売上高推移



(注) 各指標の金額は、百万円未満を四捨五入しております。

事業セグメント別

当社の事業セグメントは、祖業であり競争力の源泉であります精密金型事業と2001年の上場を機に参入した精密成形品事業で構成されております。

精密金型技術を活用した精密成形品事業の売上高比率は、2014年度以降、売上全体の約60%程度で推移しております。

中期的な方針として売上規模の拡大は、自動車用分野を中心とした精密成形品事業(下記精密成形品事業<<分野別>>資料をご参照ください)で計画しております。

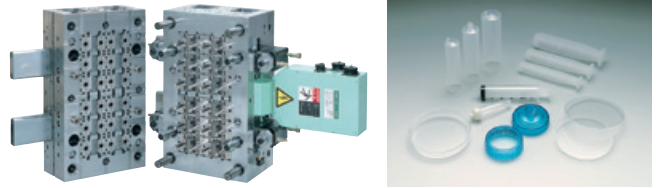
2021年度につきましては、精密金型事業での堅調な受注の継続および精密成形品の増産による売上高の増加を目指しております。

精密金型事業<<分野別>>

精密金型事業は、価格競争に陥る分野とは一線を画し、売上規模の拡大ではなく、より付加価値の高い製品への集中を進めております。

新型コロナウイルス関連の製品も視野に入れ、医療用関連分野・食品容器関連分野への受注活動に注力し、併せて研究開発活動および製造原価構造の改善による利益率の向上を目指しております。

【注射器用金型】



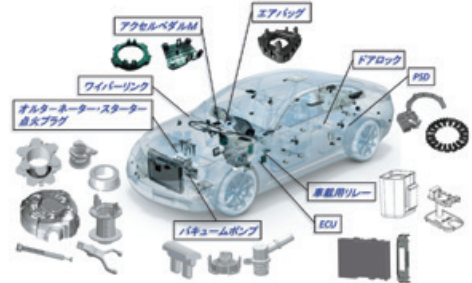
精密成形品事業<<分野別>>

精密成形品事業は、長期安定生産につながる自動車部品(2輪・4輪)分野の拡大を計画的に進めております。

品質保証体制のレベルアップを着実に実施し、今後増加する受注への対応のための増産体制の整備を順次実行しております。

今後拡大が予想されるEV(電気自動車)向けなどの新製品の受注・開発を鈴鹿工場(トピックスをご参照ください)を拠点に進めて参ります。

【4輪車関連の受注部品例】



地域別

タイ・インドネシア市場では自動車部品の受注拡大に対応し、成形設備の増強と品質保証体制の整備を進め、売上規模のさらなる拡大を目指しております。

中国市場では米中貿易摩擦や中国当局による各種の規制強化などもあることから、生産性の向上、固定費の圧縮などで一定の利益の確保を目指し、規模の拡大は計画しておりません。

三重県鈴鹿市に新工場開設



工場概要

名称	鈴鹿工場
住所	三重県鈴鹿市御園町 (御園工業団地内)
操業	2021年6月開始予定
業務	精密成形品製造
用地	既存の不動産取得 土地4,074㎡、建物1,676㎡ (2020年8月取得：上部写真)

自動車関連部品を主力製品として拡大を目指しております精密成形品事業では、従来タイ、インドネシアおよび上海の各子会社を量産拠点として展開しており、現地の日系メーカー様への自動車部品の供給を順次拡大しております。

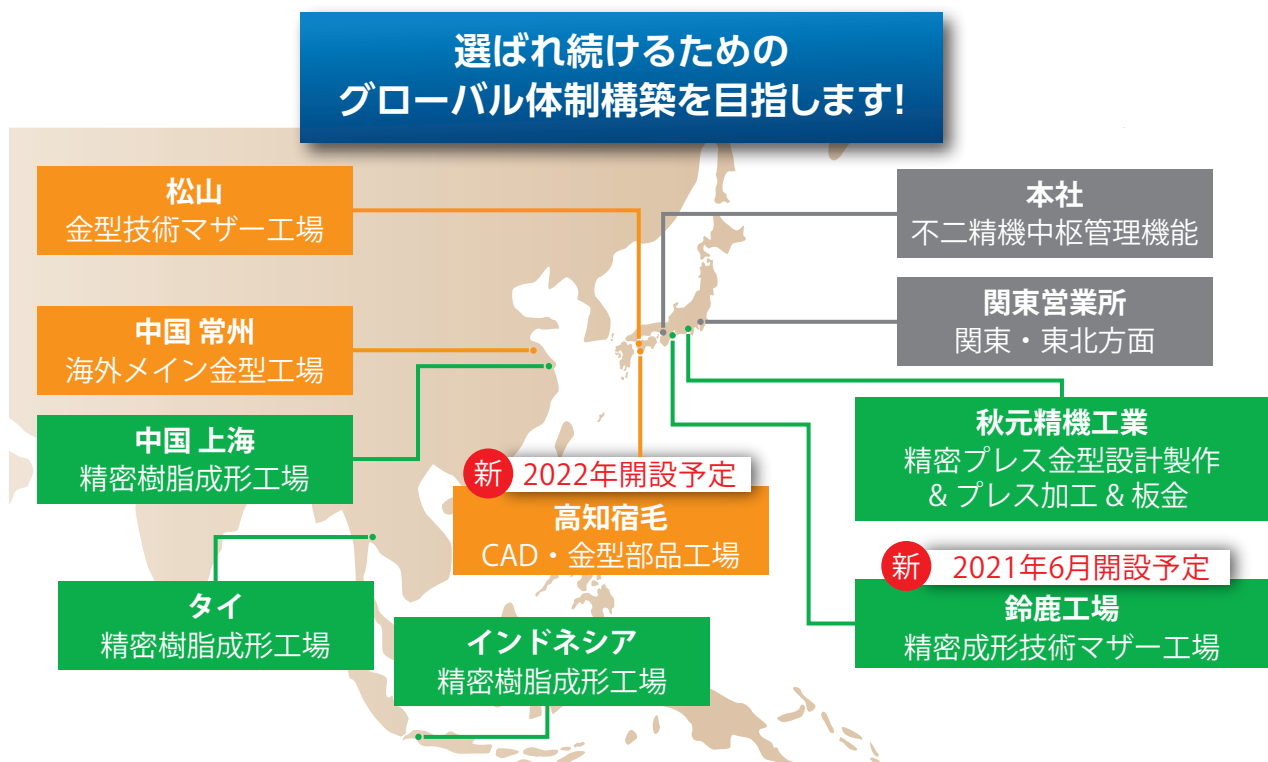
今回新たに開設いたします鈴鹿工場は、海外拠点での供給先である日系メーカー様の多くが集中する東海地域での量産拠点としての位置づけとともに、グループ全体の精密成形品事業のマザー工場として、今後予想されるEV(電気自動車)、自動運転車への移行に伴い自動車部品の電動化・電子制御化が急速に進む中で、対応する新製品の受注・開発の拠点とすることを目指しております。

新製品の開発には、当社の精密金型技術と2019年にグループ化した秋元精機工業の精密板金プレス技術とを組み合わせ、新たな部品の試作から海外拠点での量産立ち上げまでを一括してご提案することで受注獲得を目指します。

また、海外の量産拠点での品質保証・品質管理および生産性の向上に向けた製造工程の自動化設備の開発を併せて進めることを予定しております。

不二精機グループ グローバル体制構築

祖業である精密金型事業では、高知県すくも宿毛市に新工場を開設し継続的な人材確保と金型部品の安定生産を目指し、精密成形品事業では、上記の鈴鹿工場をマザー工場として新たな価値を生み出し、お客様に選ばれ続けるためのグローバル体制の構築を目指して参ります。



会社概要 (2020年12月31日現在)

商号	不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD.
設立	1965年7月1日
資本金	5億円
従業員数	108名
事業所	本社・松山工場・関東営業所
主な事業内容	プラスチックを加工するための射出成形用精密金型および成形システムの製造・販売 精密成形品その他の製造・販売

ネットワーク (2020年12月31日現在)



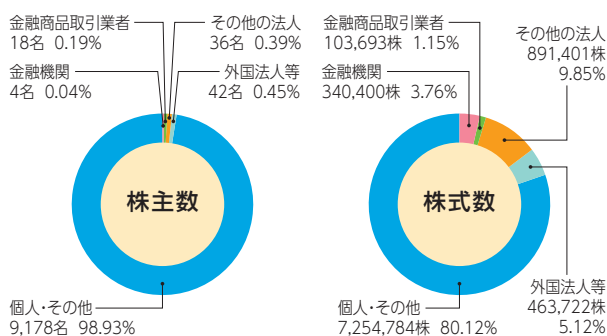
役員 (2021年3月30日現在)

代表取締役社長	伊井剛
取締役副社長	宮崎正巳
専務取締役	山本幸司
常務取締役	藤本由数
取締役(新任)	塩井寿史
取締役(社外)	高橋秀昭
常勤監査役	菅橋一明
監査役(社外)	梅田浩章
監査役(社外)	橋本豊嗣

株式の状況 (2020年12月31日現在)

発行可能株式総数	23,720,000株
発行済株式の総数	9,054,000株
株主数	9,278名

株式所有者別状況 (2020年12月31日現在)



ホームページのご案内

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<https://www.fujiseiki.com>



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 実施する場合は6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.fujiseiki.com/ir/public/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。